

## オーストラリアでの充実した10日間

藍住中学校 英 彩音

私は中学生海外派遣研修においてオーストラリアでとても楽しく、充実した日々を過ごすことができました。また、ホストファミリーの方があたたかく迎えてくれ、安心した生活を送ることができました。

私は今回、二つの目標を持って研修に参加しました。

一つ目の目標は「オーストラリアでの生活や習慣、文化、考え方の違いを体験する」です。オーストラリアの学校に通い、日本との違いを知ることができました。徳島では、生徒は決められた席に座り授業を受けます。そして先生が黒板に文字を書いたり、プロジェクターに映像を映したりして、生徒がプリントやノートに文字を書くことが多いです。しかし、オーストラリアの学校は生徒一人ずつにパソコンがあり、おもにパソコンを使いながら授業が行われていました。そして生徒たちは自由な席に座り授業を受けていました。また午前11時頃に「モーニングティー」という少しの食事をする習慣があることにとっても驚きました。モーニングティーの時間は友達と話をしたり、自由な時間を共有したりできることを知り、オーストラリアの文化の一つを体験できました。学校生活の最終日、文化相互交流を行いました。徳島のことを伝えられるよう、英語で一生懸命発表しました。緊張しましたが、オーストラリアの生徒たちがしっかり聞いてくれてうれしかったです。

二つ目の目標は「英語を聞いたり声に出したりして、多くの方と積極的にコミュニケーションを図る」です。シドニー空港に到着したとき、周りの人が話している言葉が日本語ではなく、英語など様々な言語が聞こえ、いろいろな人と話をできることが楽しみでした。外国の方と初めて会話したときは、私の伝えたいことを英語で表現できているか心配でしたが、毎日英語を続けているとスムーズに会話ができるようになりました。声に出して話すことはもちろんですが、ジェスチャーを活用することも大切だと感じました。

今回の海外派遣研修で一番心に残っているのは、ホストファミリーの方が親切に受け入れてくれたことです。ホストファミリーの方が自宅近くのとてもきれいな海へ連れて行ってくれました。



また、休日には山の中にあるアスレチックで、身体を使いながら大自然を楽しむこともできました。そして、私がテニスをしていることも知ってくれ、オーストラリアで外国の方とテニスができたことは本当にうれしかったです。スポーツは世界共通ということも実感しました。ホストファミリーの方との食事は、とても美味しく、会話しながら食べたこともあり、楽しい時間でした。1日だけ夕食を担当させてもらい味噌汁、卵焼きを作りました。ホストファミリーの方は「Nice !!!」と笑顔で言ってくれました。お土産に藍染の手ぬぐいや阿波踊りの切手をお渡しすると、とても喜んでくれました。

10日間、本当に貴重な経験をすることができました。この経験をいかして国際的な視野を持てるよう積極的に学習を重ねます。

